

※ 今週のアウトルック (8/10~8/14)

先週は、全般的には小動きの中、米国雇用統計発表後は若干ドル売りが優勢となりNY市場を終了しています。

米国雇用統計の結果は、9月利上げを決定付けるような強いものではなく、市場の判断が分かれる形となっているようです。

今週は、9月利上げの動向を探るため、マクロ指標の結果などに敏感に反応しそうですが、方向感を欠く展開となる可能性が幾分高そうです。

先週ドル円は雇用統計発表に向けてドル高が進み、125円を超える場面もありましたが、雇用統計発表後は、若干の失望感と利益確定の動きから124円台前半まで戻して終了しています。

今週はマクロ指標の結果で、9月利上げの可能性を探っていく展開となりそうですが、よほど良い、あるいは悪い結果のものが発表されない限り、方向感を見出すには、まだ時間がかかるように思います。

ドル円の予想レンジは123円から125.5円です。

先週ユーロは、当面の材料不足から小さな動きとなっています。今週も米ドルに大きな動きなどが無い限り、同じような展開となる可能性が高いように思います。

ユーロ円の予想レンジは134円から137円です。

ポンド円は、196円のハードルを超えることができなかったことから、利益確定が優勢となり、192円付近まで下落しています。もし191円を割るようなことがあれば、下落トレンド入してしまう可能性が高まりそうです。

ポンド円の予想レンジは190円から194円です。

今週は、東京市場がお盆休みなどの影響で取引が少なくなる関係から、海外トレーダーの仕掛け的な動きには注意が必要です。また、原油価格の下落や中国市場の展開が非常に気になります。

場合によってはリスク回避的な動きが一気に加速する可能性も考慮する必要がありそうです。

**\*免責事項\***

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。